

コスト削減

社員寮浴室用給湯設備の更新で、イニシャル／ランニングコスト比較から業務用エコキュートを提案	
1. 既存設備の概要 とお客様の要望	<p>【既存設備の概要】 三階建て社員寮3棟、収容人員172人の浴室用給湯設備として、ガス瞬間湯沸かし器50号×5台使用</p> <p>【お客様の要望】 老朽化で故障が多かった、また、低気温時にシャワーから水が出る苦情あり。</p>
2. 提案した解決策	<p>比較した熱源</p> <ul style="list-style-type: none"> A 空冷ヒートポンプチラー B 空冷業務用エコキュート C ガスボイラー D ガス瞬間湯沸かし器 <p>【提案した解決策】 イニシャルコストではDだが、ランニングコストでは深夜電力使用のためBが最も低い。さらに貯湯式のため外気温の影響がなく安定した給湯が可能であることや環境にやさしいことからBを提案した。</p> <p>仕様：加熱能力 40kW×2台、 貯湯槽 有効 16ton、浴槽を10 m³から6 m³に改造</p>
3. 得られた成果と お客様の評価	<p>【成果】 竣工より数年が経つ現在でも、冬季の水温低下が無く順調に湯を提供している。</p> <p>【お客様の評価】 ランニングコストに関しては、当初の計画よりも費用が増大している。 (使用湯量の増加のため)</p> <p>しかしながら、以前のガス式に比べ約180万円程度の削減に成功した。</p>
4. 今後の課題と 展開	<p>【課題】 お湯の使用量が極端に増えた時に、一時的に最低水位ラインを引き上げるボタンがある事を説明し、対応頂く事です承頂いた。 (通常はタンク全容量25%を保持するように運転するが、ボタンを押すと40%を保持するように運転する)</p> <p>【今後の展開】 カランの閉め忘れでお湯切れが発生するなど、人為的ミスの防止も考慮した設備全体の改修を提案。</p>